

# 輝け！ 菊鹿中学校

山鹿初コミュニティ・スクール

(学校運営協議会制度)



力つくして

知と愛と

さやけく生きん

たくましく

校  
是

## 山鹿市立菊鹿中学校

〒861-0406

熊本県山鹿市菊鹿町下内田485番地

TEL (0968)48-2034

FAX (0968)48-3194

y-kikukajh@educet01.plala.or.jp



# I 文部科学省指定 菊鹿中学校コミュニティ・スクール推進事業に伴う教育研究

校是「たくましく さやけく 生きん 知と愛と かつくして」

学校教育目標 限りない夢を抱き、たくましく学び続け、自立と共生の心を育てる教育の創造  
教育実践スローガン 学びは力なり 学びは希望なり 学びは喜びなり

## めざす学校像

- ①生徒・職員が生き生きと活動している学校
- ②愛情と信頼に満ち、日々前進する学校
- ③環境が整備され、清潔で美しい学校
- ④保護者・地域から信頼される学校
- ⑤生徒・教師・地域が誇りとする学校

## めざす生徒像

- ①求め学ぶ心を持って自己実現をめざす生徒
- ②故郷に学び、故郷を誇りに思う生徒
- ③自ら考え判断し、たくましく行動する生徒
- ④健康で節度のある明るい生徒
- ⑤主体性を持ち、くじけず、ねばり強い生徒
- ⑥互いに協力し助け合う生徒

## めざす教師像

- ①使命感と教育愛に燃える教師
- ②研修に努め、高い指導力を持つ教師
- ③豊かな人間性を備えた心の美しい教師
- ④積極的で協力的な明るい教師
- ⑤生徒・保護者から信頼され、敬愛される教師

## めざす授業像

- ①全員参加で、生徒が主体の授業
- ②学習意欲や課題意識が高まる授業
- ③基本的学習訓練が定着している授業
- ④教材教具等が工夫されている授業
- ⑤意見発想の違いを認め合い、支え合う授業
- ⑥生徒の実態を知り課題が生かされる授業

## 【生きる力】

・豊かな心 ・確かな学力 ・健やかな体

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領

## 【学校教育目標】

限りない夢を抱き、たくましく学び続け、自立と共生の心を育てる教育の創造

## 【教育実践スローガン】

学びは力なり 学びは希望なり 学びは喜びなり

教師の願い

## 【研究テーマ】

たくましくさやけく生きる菊鹿中生の育成

～菊鹿中コミュニティ・スクールの推進と熊本型授業の実践を通して～

## 【めざす生徒像】

- ① 求め学ぶ心を持って自己実現をめざす生徒
- ② 故郷に学び、故郷を誇りに思う生徒
- ③ 自ら考え判断し、たくましく行動する生徒
- ④ 健康で節度のある明るい生徒
- ⑤ 主体性を持ち、くじけず、ねばり強い生徒
- ⑥ 互いに協力し、助け合う生徒

## 【めざす授業像（分かる授業の追求）】

- ① 全員参加で、生徒が主体の授業
- ② 学習意欲や課題意識が高まる授業
- ③ 基本的学習訓練が定着している授業
- ④ 教材教具等が工夫されている授業
- ⑤ 意見発想の違いを認め合い、支え合う授業
- ⑥ 生徒の実態を知り課題が生かされる授業

## すべての教育活動での実践

## 【研究部会】

### 【知のコミュニティ】

〈学力向上研究部〉

### 【愛のコミュニティ】

〈豊かな環境研究部〉

### 【力のコミュニティ】

〈健やかな心身育成研究部〉

## 【研究仮説】

仮説1：地域と連携したコミュニティ・スクールの推進体制づくり

地域人材の専門性を活かした授業や学校行事等を推進すれば、自主性や思いやりをもった生徒が育つであろう。

仮説2：熊本型授業の実践

学習内容を明確化し、思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動を充実させれば、確かな学力をもつ生徒が育つであろう。

人権尊重の精神

現代社会の状況

生徒の実態

地域の実態





## 輝け！ 菊鹿中学校（地域とともにある学校）

～山鹿市初のコミュニティ・スクールを目指して～

菊鹿中学校では、山鹿市で初めてのコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）を目指し、3つの部会に分かれ地域との連携を進めている。



〈着付け教室〉

### 1 学力向上研究部【知のコミュニティ】

学習内容を明確化し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る授業実践と言語活動の充実についての研究を行う。また、各教科の特性に応じて地域人材を活用している。

#### (1) 技術・家庭科における「浴衣着付け」授業

3年生対象に30名の地域の方が講師として来校され、「浴衣着付け」の授業が行われた。全体会のあと、男女別に会場を分けて実践的な学習へと移った。男子の方は着付けが簡単なことから、着物の歴史や姿勢を直すことの重要性なども話していただいた。女子の方は着付けがやや複雑なために、講師の先生方に何度も教えていただきながら、計2回の着付けを全員が体験した。おかげで今年も菊鹿夏祭りでは、自宅で着付けをしたという生徒がほとんどであった。この取組全体が「日本文化継承」への一助と考えると、大変意義深い学習であった。またこの取組の後にも、講師の先生方を本校の文化祭にお招きしたり、職場体験学習や町内行事で生徒と会ってコミュニケーションをとっていただくなど、生徒と地域のつながりも深まっていることを感じた。

#### (2) 短歌教室

菊鹿町には、「菊鹿短歌会」があって、昭和33年から同人となる地域の方が歌をよみ、歌集を出版してきた伝統がある。第2学年で学習する教材「豊かな言葉新しい短歌のために」のまとめとして創作した短歌を、菊鹿短歌会の方々に、評価や添削をしていただいた。

初めての試みではあったが、添削だけを依頼するよりも、実際に生徒の目の前で、批評したり、言葉を換えてみせる活動は生徒の思考力や判断力、表現力を高めることができた。



菊鹿中学校第二学年 短歌

◎亡き祖父が育てた栗をほおばれば  
ほのかな甘さ涙こぼるる  
《短歌会の添削・指導》  
祖父への思いが良く伝わってくる歌です。  
結句を口に広がるとしてはどうでしょう。

◎彼岸花心なごます赤色の  
緑にはえる打ち上げ花火  
《短歌会の添削・指導》  
比喩（暗喩）が効いている。  
よくまとめられた歌です。

### 2 豊かな環境研究部【愛のコミュニティ】

地域の財産を活かした授業づくりや学校行事の進め方を研究するとともに、自主性や思いやりのある生徒の育成についての研究を行っている。

#### (1) 鞠智城での花苗配布

山鹿市の文化遺産歴史公園鞠智城。本校では生徒会を中心に、国営公園化に向けて盛り上げようと3年前より始めた花苗の配布を今年も実施した。整美委員会を中心



に植えの準備から苗の手入れまで生徒たちの手作業で行い、今年もたくさんの花苗が育った。6月27日に1000本の花苗を用意し、鞠智城で校区内外の方に配布した。このような取組により、地域の財産を大事にする意識が育ち、また、生徒自身が地域への「役立ち感」を持つことができるようになった。



## (2) 文化祭の取組

菊鹿中では毎年秋に1日かけて文化祭を行っている。各学年からは、台本から起こした1時間を超える演劇を発表し、保護者だけでなく多くの地域の方々からもその熱演に涙を流され、賞賛の声をいただいている。

またこの日は、地域のボランティア団体「虹の会」と、菊鹿中学校家庭部会の連携による豚汁とやきいもの炊き出しを行っている。菊鹿中の文化祭には生徒、保護者、地域の方、菊池恵楓園の方など総勢500名以上の参加があるが、その方々全てに食べていただけるよう前日から準備をし、当日も夜が明ける前から作り始められる力の入れよう、食べられた地域の方々からも大変喜ばれている。



1年「水俣の宝子」(水俣病学習)



3年「明日」(ハンセン病学習)



やきいも・豚汁炊き出し  
(虹の会・家庭部支援活動)



2年「古代山城・くくちのき」  
(習字学習)

## 3 健やかな心身育成研究部【力のコミュニティ】

健康に関する行事や保健体育の授業において、生徒の自主性と健康生活の実践力を高め、家庭や地域を巻き込んだ教育活動の工夫・改善についての研究を行っている。

### (1) 地域の優しさ防犯パトロール

「虹の会」の方々に協力していただき、学校行事や地域イベント等の防犯パトロールを実施した。5月に開催した体育大会では、学校敷地内や校舎内、学校周辺の道路等もパトロールしていただいた。菊鹿夏祭りでも、学校職員や少年警察ボランティアの方たちと合同で夜間パトロールを実施した。また、10月に行った文化祭では、青色のパトロールランプを車載して、学校周辺を巡回してもらい、学校行事の安全な実施に多大な支援をいただいた。



虹の会によるパトロール

### (2) 地域、親子愛校作業

整備された環境で2学期を迎えるために、愛校作業を行っているが、本年度は生徒、保護者に加え、地域のボランティアの方にも参加いただき実施した。大型のダンプを提供していただき、大がかりに校内の樹木まで整備することができた。



(全員総出の愛校作業)

### (3) 送別駅伝大会

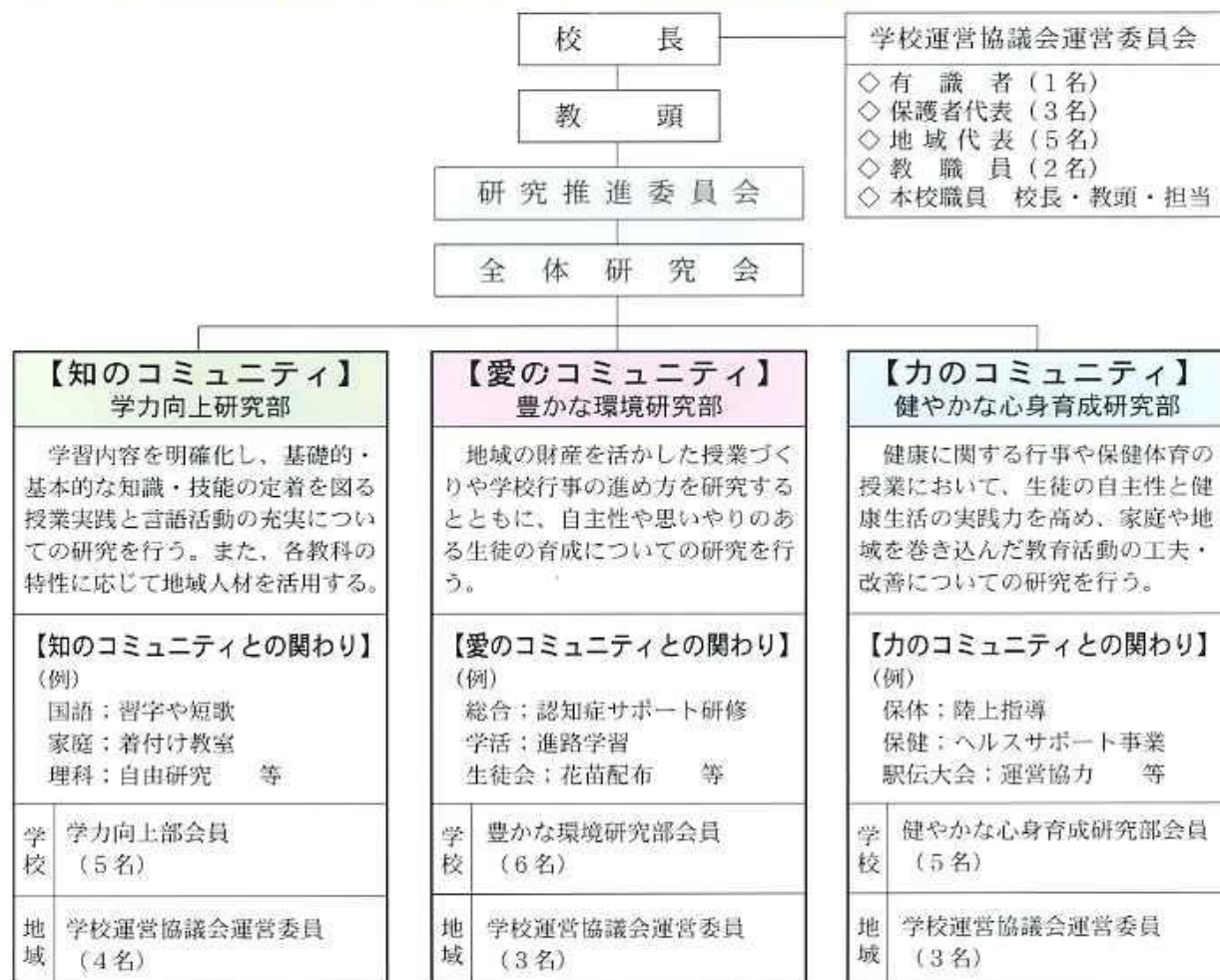
菊鹿中学校では、毎年公立高校の入試が終わったあと全校駅伝大会を開催している。各クラスごとのチームに加え、保護者・卒業生チームや職員チームをつくり、学校・保護者・地域全体で3年生の卒業を祝い、感動の卒業式につなげている。



(笑顔溢れる送別駅伝)

これからも生徒はもちろん保護者・地域の方々にも信頼される「輝く菊鹿中学校」を創造していきたい。

## II コミュニティ・スクールの研究組織



地域で安全指導



伝統の送別駅伝



かたりんご



菟智城を国営公園にしよう



受け継ぐハンセン病学習



### Ⅲ 知・愛・力の3コミュニティの活動計画

	【知のコミュニティ】 学力向上研究部	【愛のコミュニティ】 豊かな環境研究部	【力のコミュニティ】 健やかな心身育成研究部
4月	読み聞かせ：ボランティアグループ「かたりんご」による読み聞かせをしていただく。(月1回)	歓迎遠足：鞠智城の「温故創生館」で地域の歴史学習をする。	交通教室：自転車点検や交通講話を、防犯パトロールの方々に協力していただく。
5月		子どもフェスティバル：生徒がボランティアとして協力する。	体育大会：菊鹿音頭、女子ダンスを、文化協会に要請し協力していただく。
6月		花いっぱい運動：生徒が育てた苗を鞠智城で配布したり公共施設に寄付する。ハンセン病問題学習：生徒会が恵楓園を訪問し現地学習をする。	歯科衛生週間：歯磨き指導を、歯科衛生士に要請し、協力していただく。
7月	家庭科：地域の方々に来ていただき着付け教室を行う。	進路学習：菊鹿出身の方や地域に密着して仕事をされている方に講話をしていただく。	保健体育：水泳での泳法やマナー、事故防止の指導を「菊鹿水泳協会」に協力支援していただく。
8月		菊鹿夏祭り：ボランティアに職員が参加、踊りに3年女子が参加する。廃品回収：生徒が各家庭にチラシを配布し保護者の協力を得ながら回収する。福祉体験：ワークキャンプに参加する。	補導パトロール：夏祭りや平日夕方に、防犯パトロール・虹の会の方々と職員で一緒に補導活動をする。ヘルスサポート事業：食育の指導者の方々とともに料理を作り、食に対する指導をしていただく。
9月	理科：自由研究の選定やまとめ方を支援していただく。英語：海外で活躍している地域の方々の話を聞く。	職場体験：菊鹿の事業所で職場体験をさせていただく。音楽ランド：生徒がボランティアで参加、音楽部が合唱を披露する。	
10月	英語：暗唱大会に向けた暗唱練習の協力をしていただく。	文化祭：豚汁、焼き芋、バザー等、家庭部や虹の会の方々に協力していただく。	中体連駅伝：練習指導を、地域ランナーの方々にお願いする。文化祭：防犯パトロール・虹の会の方々に校舎内外の巡回をしていただく。
11月	技術：栽培の授業の際、農家や農協の方、農業高校の生徒に協力支援していただく。	鞠智城ウォークラリー：ボランティアとして参加する。	
12月	国語：短歌集を作成する際、支援していただく。		終業式：冬休みの交通指導や生徒指導面の話を、防犯パトロールの方々にお願いする。
1月	国語：習字の際、支援していただく。	認知症サポート研修：認知症サポーターの方に講話やワークショップをしていただく。	
2月		地域学習：地域の偉人を扱った読み聞かせをしていただく。限部城ウォーキング：生徒がボランティアとして参加する。	
3月		送別駅伝：ぜんざい等、家庭部に協力していただく。あんずの丘マラソン：生徒がボランティアとして参加する。	送別駅伝：地域ランナーの方々に参加していただく。事前の授業にも参加してもらう。



家庭科での着物の着付け



廃品回収



体育大会